

取組名称	酒蔵だけど酒蔵じゃない！令和元年創業やまね酒造のニホンヤマネと環境保全活動への挑戦			団体設立後の経過年数	4年
応募取組主体名称	やまね酒造株式会社	活動地域	埼玉県飯能市	応募取組の活動年数	4年
取組主体の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input checked="" type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境ひとづくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / <input type="checkbox"/> SDGs ビジネス賞 / <input checked="" type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞				



<h3>取組の要旨</h3> <p>やまね酒造は令和元年に埼玉県飯能市に設立、同年に「やまね酒造 生物多様性・環境生態学研究センター」も設置しました。ニホンヤマネが住む飯能の森の木を使った木桶仕込みによる酒造りを行い、同時に木桶の発酵文化を次の世代に伝えるべく酒造り体験や酒蔵がある周りの自然環境を伝えるエコツアーも開催しています。お酒の売上をニホンヤマネの調査・研究に充て、ビジネスの力で環境保全活動を継続的にできるよう日々、活動しています。</p>
<h3>実績の要旨</h3> <p>2022年より、木桶仕込みのお酒の製造・販売に加え、ヤマネが住む飯能に直接お客様に来てもらいたいという願いから民泊・BBQ事業も開始しました。宿泊が可能となったため夜行性であるヤマネが息する森での夜間観察会を実現さらには飯能の自然を満喫するエコツアーを今までに30回以上開催するまでになりました。2023年には全国各地から、げっ歯類ファンや大学の研究者の方々を集めた「第1回 ニホンヤマネサミット」を主催・開催しました。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	エコツアー等を通して直接、参加者に自然環境に触れてもらうことで、ヤマネが住む森を具体的にどのように守っていけば良いか伝えています
	社会・経済への貢献	飯能の地元住民・農家・猟師・林業者と密に連携し、コラボレーションエコツアーや「ジビエに合う木桶仕込み酒」の共同企画しました
	地域資源の活用	お酒に使用するお米も、お酒を仕込む木桶やその他の酒造用道具も可能な限り地元飯能産を使用しています
	普及・汎用性	常に開かれた酒蔵であることを意識し、挑戦し続けている姿をSNSで情報発信、伝統と革新の精神を大事にしています
	革新・ユニーク性	木桶仕込みのお酒と自然環境をコラボレーションさせることで「食」から人間と自然や生き物との関わり方を示しています
	継続性	飯能の様々な立場の方々を本取り組みに巻き込んでいくことを意識し、地元の方を対象としたイベントや定期的に飲み会を開催して親睦を深めています

展望の要旨

ビジネスの力で持続的に自然や動植物と関わり、それらを保全し続けられる「やまね酒造モデル」の確立を目指します